

兵庫県神戸市

## 清酒・観光・飲食事業の一体運営 IoTを導入し杜氏の伝統技術をデータ化

1751年（宝暦元年）創業。「自然と人を見つめるものづくりで、地産地消をベースとした地域振興を目指す」をスローガンに、清酒製造業、観光事業、飲食事業の一体化による価値創造を目指している。ベテランの杜氏による熟練の経験や技術で成立していた酒造りの各工程を数値化し、データ管理を導入することで、高品質な製品を安定的に生産している。ノーベル賞の公式行事で提供されるなど(今年で9回目)、国内外で高い評価を得る。

●所在地	神戸市東灘区御影塚町1-8-17	●設立	1997年
●電話/FAX	078-821-2911/078-851-7959	●資本金	6,000万円
●URL	<a href="https://www.shushinkan.co.jp/">https://www.shushinkan.co.jp/</a>	●従業員数	49人
●代表者	代表取締役社長 安福 武之助		



### 「タライ麹造り」により高付加価値な日本酒の安定供給を実現

杜氏の高齢化による引退を機に、2006年より通年雇用の「社員による酒造り」を開始。2010年に、伝統の木製ではなくプラスチック製の「タライ」を使用した「タライ麹造り」を本格的に導入した。水分管理を徹底することで強い麹をつくることが可能となり、「大吟醸」や「純米吟醸」などの高付加価値な日本酒の品質が向上。「全国新酒鑑評会」「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」など国際的な酒類コンクールでの金賞受賞などの成果につながっている。



ノーベル賞公式行事の提供酒

### 杜氏の伝統技術をデータ化し、IoT技術の導入で生産性向上

ベテランの杜氏による熟練の経験や技術を数値化し、データ管理を導入。独自技術の「タライ麹造り」をはじめ、温度管理、循環水などの運転状況を最新のIoT技術とスマートフォンを使った遠隔監視システムでモニタリングしている。これらの制御技術を用いることで、ベテランの杜氏に依存しない「社員だけによる酒造り」を実現。徹夜作業を廃止しても高品質な製品を安定的に生産することが可能となった。また、通年生産により設備稼働率の向上を実現し、省エネルギーと売上の増加を両立している。



遠隔監視システムによる生産管理

### 労働時間の大幅な削減

生産管理プロセスのデータ化に重点課題として取り組んでいる。ベテラン社員から若手社員への技術継承に力を入れ、より高品質な酒造りを目指す。スマートフォンを使ったモニタリングシステムの導入で遠隔制御が可能となり、泊り・宿直制度、夜間早朝勤務制度などを廃止。年末年始の勤務も2名から1名体制とし、社員の負担を低減している。2021年までに週40時間勤務と完全週休2日制の導入を目指す。「きつい職場」環境から脱却し、社員の働き甲斐を高めることで、「働き方改革」を一層進展させる。



ベテラン社員から若手社員への技術継承